

2005年10月6日

そごう心齋橋本店 開店1ヶ月動向について(9/7~10/6) 開店からの動員数200万人、売上高は55億円。

9月7日(水)に新築再開店した「そごう心齋橋本店」ですが、おかげさまでこの1ヵ月の間、多くのお客さまにご来店いただき、お遊びに、お買い物に楽しんでいただきました。ここにご支援いただいた皆様方にお礼を申し上げるとともに、営業の動向について報告させていただきます。

ご来店いただいたお客さまは1ヶ月で200万人、売上高は55億円です。(9/7~10/6)

・来店地域は西区を筆頭に中央区、城東区が上位3区。また御堂筋線沿線の阿倍野区、天王寺区、西成区、浪速区、豊中市、堺市を含め市内16区・周辺5市を中心に、近鉄東大阪線、奈良線を利用した東大阪市、奈良市、生駒市からも、ご来店いただきました。

おとな(中高年マチュア層)のお客さまに、高いご支持をいただいております。

・ミレニアムカードデータから、お買い上げ顧客(男女計)は40歳以上が60%で、特に65歳以上のリピート率が高いという結果となりました。又、50~59歳の団塊世代とともに25~34歳のお買い上げ顧客も多く、団塊ジュニアのお客さまにも支持をいただいております。

ミレニアムカードにも、多くのお客さまに、ご入会いただいております。

・ミレニアムカードの会員数は、目標の10万件を突破。ミレニアムリテイリンググループ全体で約100万件(そごう3店舗計約70万件:心齋橋本店、神戸店、西神店、西武百貨店(*クラブオンカード)3店舗計約30万件:高槻店、八尾店、大津店となり、心齋橋本店のオープンが、今後グループの関西戦略の強化に大きく寄与していくことになると思われます。

心齋橋エリア周辺の活性に大きく寄与。地元の皆様からも多くの歓迎の声あり

・心齋橋本店の開店に加え、「アーケードコンシェルジュお出迎え隊」等、地域一丸となった心齋橋筋・戎橋商店街等、地元商店街との取り組みにより、当エリアへの集客(*地下鉄:心齋橋駅の乗降客をみると)は、大幅に向上。イメージ向上面において大きく寄与していると思われます。地元の皆様からも、「そごうが帰ってきてくれた」という歓迎の言葉を多く頂戴しており、心齋橋エリアの活性に大きな期待がよせられています。